聞

備此新聞

北

代表者

田中実業株式会社

は今から40年前。「記

者たる者はその土地

新 岡山県新見市正田205

郵便番号 718-0013

電話·FAX (0867)72 - 0580

振替口座 01220=7=1729

聞

電話 96-2119

Ô

セメント

IDEMITSU

A

Astomos

LPガス

2000 号

新見通

った。

お 互

い若く、

ま

のだ。

に及ぶプ

任したの

慮もなかった。いや、な代の死去の後のこと。# 根かの死去の後のこと。# かった、 の言葉の重さがわからな この地域の 無理と限界がある。 そこそこの若造の論には りを追求してきた。 事の速さよりも深さ、 旬刊の備北新聞は、 本当に継ぐ かもしれない。 (関係性)、 と表現した方が 人たちは、 育ち かけ か 20 広 歳 が が 5

熟 先 を辿る「たまがきハイを辿る「たまがきのた。 を削以外に言葉がない。 があった。中世の道 を辿る「たまがきい。 新聞人の先輩 域に育てられ 刻み込んだ瞬間だった。 場主義」 で感じ考え表現する「現を入れた。それは、現場 行取材は備北新聞に性根の高梁川下り、2つの同 ク」と復元した高瀬舟で れたと思う。

※二市民の会、新見新見女子短大を応援 の大切さを心に 新見ふるさと塾 何か、 び 屯 思っている。

目に見えないものを尊る」。先代の口癖だった。 を良くすることと心 と。「形あるものは滅び 備北新聞の使命はまち

同じ」。 もかくあり続けた と言い換えた。これか ントにあった。 「原稿 (言行) やって 仲間から いること 致 コ

書いてるこ

いており、

新聞の全て

れてお

クア

オ

のSNSやブログで個

Bの全ての なかなか

多くの

相談をいただ

歴史、 践例につ

意義や国内の実

いてまで書

インタ

ネット

私は、

一の弁護士として

を割き、

クアオルト

も備北新聞の魅力では点的に紙面を割けるののでおくべき話題に重

上増していると思いま に向けて発信する備 の存在意義は

企画から製作まで

総社市総社一丁目10番24号

FAX (0866)93-7958

(0866)92 - 0055

ルトの紙面

だけでなく、

か

と決 意 増え、語らいの内外に飛躍的に出 くり づくり、2・13にいみの庄の歴史を生かしたまち 験観光協会など、 日世話人会、 外に飛躍的に出会いがりの輪を広げてきた。

紙として、新見の

って き、

正義感の

強い人で、

らお手伝い

います。

0

前提にある。 っとその前に

や

のことで、

元

新見市民なら知

27年6月と 創刊は昭

号全て読むことがでいません。その点、

人でした。

が集まり 人さんを立

多方面か

らませる。 データ関心を広げ、興味

芳人さんもまた、

麗な文章で知られた

かったと記憶して

お母さんも、

臂(ろっ

のご活

なりませ

八面六

が出ると思った」と言

流躍で、

日

・忙しい芳

**心援する者** 

ことなく、その論調

権力におもねる

『故郷を愛する』想受け継がれている

創業以来、

々と

ぶれることが無

いを途絶えさせては

ると、

もっといい知恵

進地を見たり、

席上、三上眞会長は「先 計画を答申した。その

新しい市総合振興

と未来を伝え続

を知ることがで 考えるべき課題

職員ともよく議論し生徒会長として、数

ていることに

社説

からも

感謝

と使

命

る。新聞は出会い産業とそれらを紙面に表現すさんの学びを得た。 大な被害を受けた石巻点は、東日本大震災で甚 女川町に立ったこ 、東日本大震災で甚ている。第2の転換 庄の歴史を生 かのさと体 中でたく まち が かしたま けすることを意識した。
きを踏まえながら、地域
きを踏まえながら、地域
を見立て、あるべき姿や
解決策を提案してきた。
まちづくりは、地域資源を知り、あらゆる人や
組織や手法や事業を複合 化させ、 この 間軸空間軸の てることと、 せ、より良いまちを築く る ことと思っている。「言 地域での出来事を時旬刊であるがゆえ、 それを磨き輝 中で位置付

の一体感がこの れつつある地域 で失わ

事でした。 備北 事でした。 備北

新見に地元紙

ています。

ます資質に磨きが 学の弁論部で、 あっていました。

しみに、

今日この気張らなけ

や思い

それぞれ大切だ。

0号を楽

ます

贈い

ただ

いていま 毎号ご寄

って

る。

事業所に、

私の勤める障害者

かったよう

ごろです。

お父さん

きとても重宝し

とつだと思いまとつだと思いま

新見市の受賞(ア

学ぶことができました。

このように市民が知

らこそ、 発信できる

見に根ざ 社会だか

柳本印刷㈱

ード)を伝える

新聞では、

単に

平成 14 年 9 月 5 日 1500 号 モダンガールズ 空亡星白5 夢,此明北韓 9/29

旬







同 36 年 10 月 市

※一建て、

同33年10月

旬刊 (5、

同13年2月

2 13

ラム、 崩』。

社説、

コ

一般ニュ

元読売新聞記者

木曽田

学

を受けな

行政

スから話題物まで

べて新見地域の

地

|取材に当たったものだ。

夏期大学で記念公演

とする

、に提案型イベントを24にいみの日」世話人会

昭和27年6月

「備北

ひとり芝居

 $\overline{\mathrm{M}}_{\mathrm{I}}^{\mathrm{M}}$ 

めには、

とまず目

同9年7月

吉行和子

勤務だった。そのた|れん」と気を入れ直し、|好きで、

まちづくりな|

|れを地元・

力的なプ

(B3判2

U K O

を第25回備北

にしたのが『備北

新聞とまちづくり

の情

みに運 る。

営

トラク

備北新聞のあゆみ

ちづくり活動に参画

と心に刻んでの地方 を知り、好きになれ」



## 

同 41 年 12 月

歳末助け

策を積極的に提案

口減少問題及びその対

合い書画作品展示即売

光協会、

新見商工会と

同 26 年

新年号や5月

印象だった。「誰が さを知ったのが第 る市の文化意識の高

同39年10月

新見市観

500号となる

同14年9月 観光協会」設立

5日号で

と驚き、

それを支え

者は行政や公的機関に

さず読み続けた。「記

の新聞が存在する」

新見にこれだけ

その間、備北新聞を離

づくりに果たす備北新

の役割は大きい。

そ

一のニュースに心・

新見

「かのさと体験

紙面に限らず、

まち

備北新聞の日

本社などを転々とし、後、岡山、福山、大阪

ともにミス新見コンテ

25日号等で新見市の

好奇心が膨らみ、は書いているの?」、

田芳人氏と会

から拍手を送ったも

ら現在の

新聞サイズ

れ団体「かのさと体験

同38年1月

5日号

か

ツー

リズム企画受け

ス・インター

ナショナ

年まで続ける

俳 ダ す

川柳も載っ

ネで、

市民の短歌、

新見で約9

当年働いた

図 ら伺えた。 に ていたことが話の中からとがいる。

か

退職し

5

長期継続の

ヤンペーンとしてミ

ル京藤敦子ら3人招待

同14年2月

グリ

13

る。 句

(シロク判4ツ切) と

田誉(多香史) **同51年6月** 創 より仲田芳人が6 同47年9月 備北夏期大学として継 大学講座開催。 年記念で備北地区夏季 同47年8月 福祉事務所へ継承 会主催。その後、 500号とな 創刊20周 る 以降、 社会

短大を応援するミニ市 同63年2月 同62年5月 号より事業継承 000号となる 新見女子 25日号で 創業者仲 15日号で 死去に

激励など10年続ける 受験生 のとらえ方が自分のまとめ方、要点 のまとめ方、 ラムが載った。そ モを取りなが 功芳さんの講 を企画し 自分もメ 切り

この講演の記事とコ めた。備北新聞には、 ら聞き、内容をまと

平成3年秋

中世新見

民の会を設立。

いと思う。 の歴史や歩みを知りた から来ると、 松パ 陰ン店工 まちやま まち

ことに感銘して に責任を持ってい する。

2000 号 サ

2000号と **同9年9月** 見市でもと企画 同28年1月 康ウォー 「日本型クアオルト健 0号となる キング」を新 性化プロデール域活 15日号で 新見号で

ものにならない。特には城を含め情報量が比べい好きになり動くが、地 だ」と感動を覚えた。 会に参加し、新見が とまったく違い、 おこしや講演 ر د づくりへの造詣が深 このまちの人は行 それがわり かる。

鋭い しない。備北新聞はの頭に対し優しく、余 切り口鋭く紙面にて 評論する記事を載せ る。それ

見るからに威厳に

るさと新見の発展を 独自性をもって、

見市まちづくり審議会 ■平成26年12月、新 一人の能力、資質が一層

は、他に類を見ない。
は、他に類を見ない。
は、他に類を見ない。

能)が解決してくれる、

あ

AI (人工知

とはならない。

資質が一層 でしょう

活躍されて

書

| 小の糧となっていま

論説に鳥肌 主房 金 山 伸 広 き 思いが の立 を読み、 論 中)で出会ってからの 時のことを思い出し ました。ご両親に初れ ました。ご両親に初れ がてお会いしたのがは 潔なものでした。時かれる文章もまた高、 流に流されることな 満ちたお人柄で、

開は昭和備北新聞 文学に造詣深く、 ます。



んと哲南 とうござ 代表の: 2000号おめで 阿福祉ワ 中(現哲多 仲田芳人さ| います。 クセンタ 理 ともに、 を成長発展させると が亡くなら 植野千晶 備 新見市発展 北新聞』 れて40

のために各方面で大 スに心を弾 います。 とする。 やすいう。 連など活用能力を必要 に連なる▼根拠探し あること」を意味する。 エビデンスは「根拠のいつき」の頭文字で、 し根拠ある政策を、と もあろう。 〇」には「大きな声」 い行政や事業評価 それが、 ビッグデー タの分析や関 KKOを脱 わかり

764 2764 「経験」「勘」「思

ログラムを実 30 30 )届くのを 秘訣のよいのがモ 県外から多 グラム。 していが巧 (インス を楽しみに待って だ。 「200 的考え方の 案、決定す 策を立 シスプ 号

変化を聞い た ▼ K K O

## ならない▼目を開く。 民も、孤島であっては 葉を添えた。行政も市 興味を膨 交流す 第45回記念備北夏期大学

必要なことを思

協働のまちづくり〜地域を支える 地域で支える

『まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために』

Ⅱ H 〇 E [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者(CEO) 川北 秀人氏



トークセッション

2017





◆ NPO法人みんなの 集落研究所 代表執行役 石原 達也 氏



**♦** IIHOE 代表者 川北 秀人氏 進行/仲田芳人 (備北新聞社代表)

13:30~16:30 (開場 13:00) 1,000円 新見商工会議所5F 大会議室(新見市高尾)

■主 備北夏期大学実行委員会・備北新聞社 (090-7509-5149) 新見市・新見市教育委員会

受講券扱い所

市役所受付、新見市各支局、新見市内各公民館、御殿町センター、吉田楽器新見店、新見商工会議所、 喫茶あるれ、にいみプラザ内リトルマーメード、バリエ、喫茶しるべ、備北新聞社

## 9/16±~24回秋のお彼岸セール

期間中、新米・お肉特価販売!!

地方発送承ります



グリーンセンタ-

キャッシュコーナー

旬の新鮮野菜、果物 お供用花木、切り花 揃っています

**★**19日営業します

新見の特産品がずらり お土産に、お供にも



新見市正田 379-2  $\mathbf{2}$  (0867) 72 - 7705 定休日 / 毎火曜日 営業時間 / 8:30~18:00

焼肉千屋牛(平日) 11:00~14:30(ラストオーダー 14:00)・16:30~21:30(ラストオーダー 21:00)



